

# 平成 28 年度 長岡市・三島郡生徒指導部 活動報告

部長 植木 志郎

## 1 研究主題（基本方針）

- (1) 全教職員が一体となった校内指導体制の確立をはかり、心の通った指導ができるよう、指導・援助する。
- (2) 各校において、児童の理解を深め、児童の自発性・自主性、自律性を促す生徒指導ができるよう、指導・援助する。
- (3) 学校間や家庭、地域関係機関との連携を密にし、協力して指導に当たる。SNSの使用の仕方について、市・町小中PTA連合会と同一歩調で取組を進める。
- (4) 家庭生活実態生活調査報告「長岡っ子の家庭生活 Vol. 3」から児童の状況を分析し年3回発行の「生徒指導だより」で提言・取組例を示すなど、活用する。

## 2 研究の概要・実際（主な取組）

- (1) 生徒指導講演会（6月16日：長岡リリックホール・シアター）  
演題 「思春期徹底攻略講座 思春期の親子関係を考える」  
講師 開業助産師・思春期保健相談士 酒井 由美子 様  
内容 ①思春期とは ②思春期に起こりやすい様々な問題 ③思春期の子どもたちの健やかな成長に必要なこと ④思春期を親子で乗り越えていくために親や大人としての心構えや共感的な受け止め方を考える機会となった。
- (2) 児童交歓会（7月29日：さいわいプラザ、長岡市教育センター）  
各小学校の代表児童 126 名が集まり開催した。テーマは「自らの力で自分たちの生活をよりよくする児童会活動をめざして～絆を深める取組を中心に～」である。
  - ① 開会式 レクリエーションで和やかに交流し、緊張感がほぐれ笑顔も見られた。
  - ② 分科会 六つのグループに分かれ、「話し合いや交流」「縦割り班活動」などの取組の提案発表を受けて話し合った。各校の児童会運営の課題をどのように解決していくかについて活発な意見交換を行うことができた。
  - ③ 閉会式 分科会ごとによりよい学校生活を自分たちでつくる決意を確かめ合った。
- (3) 生活指導主任研修会（①5月19日 ②10月27日 長岡市教育センター）
  - ① 情報交換…8グループに分かれ7～9校で自校の課題や解決策について話し合い
  - ② 講話…「長岡市の生徒指導上の現状と各学校の取組」 学校教育課学校支援係
- (4) 小・中・総合支援学校生徒指導連絡会（10月27日：長岡市立劇場）
  - 1回目は、6月末までに中学校区毎に開催し、各学校間での情報共有を図った。
  - 2回目は、長岡市保護司会の参加も得て10月に開催した。学校教育課特別支援教育係による講話「特別支援教育の視点から生徒指導で配慮すること」で研修を深めた。
- (5) 小中連携推進事業（教育委員会との連携）  
各中学校区では、年複数回の授業公開と研究協議、地域住民にも公開する「いじめ見逃しゼロスクール集会」や「地域連携フォーラム」等、工夫して実施した。

## 3 成果と課題

各校では、いじめ防止や不登校、問題行動等の課題について、学校間及び家庭・関係機関と連携しながら取り組んでいる。だが、市内児童の年間30日以上欠席者数は、ここ3年間（H25～27）微増傾向である。今後も、教職員の研修機会及び学校間の情報交換や実践紹介等の交流機会を充実させ、実効性のある取組を推進していきたい。